



都築 重信 議員  
(済々会)

# 小・中学校の災害対策

## 児童生徒の安全を最優先

**問** 小・中学校の安全対策は、行政にとつて大切な事業のひとつである。

**答** 地震や豪雨、台風などの自然災害。他にも交通事故や不審者による人的災害など、災害にも様々なものがある。

**問** それらに対する取り組み姿勢を確認する。

**問** 学校の教室、廊下、体育館での地震対策。

**答** 教室では、ドアを開け、通路を確保すると共に、机の下にもぐり、机の脚をつかむ。

廊下では、窓から離れ、中央部に移動して、かがむ。

体育館、運動場では、落下物の危険が少ない中央部に移動し、身をかがめるなどの指導をしている。

**問** 火災対策。

**答** 「押さない。走らない。しゃべらない。戻らない」の『お・は・し・も』の指示。

また、煙を吸わないように、ハンカチの使用や、姿勢を低く保つなどの指導をしている。

**問** 豪雨や雪対策。

**答** 大雨、大雪、洪水の各警報が発令された場合は、基本的に登校する。

ただし、道路の冠水や橋の破損、あるいは、積雪などの影響により「危険な状態にある」と判断した場合は、登校を見合わせ、自宅待機とする。

これらの登下校時は、通学路の要所に教職員が立哨し、安全確保を図る。

**問** 登校後に「警報」が発令された場合の対策。

**答** 安全確認後、速やかに下校する。

帰宅困難と判断した場合は、安全が確保されるまで、校内の安全な場所を待機する。

**問** 交通事故対策。

**答** 道路の安全性、歩道の有無、人通り、距離などを考慮し、毎年通学路の設定をしている。

**問** 不審者対策。

**答** 情報を入手した場合、「学校安全緊急情報共有化広域ネットワーク」で、町内の小・中・高等学校と幼稚園および保育園に情報を発信する。



万が一の災害に備え、設置されている消火栓と制御器

## リサイクルとゴミ減量

### ゴミ減量化に取り組み

2020年に開催される東京オリンピックのメダルは、リサイクル資源によって、製造されるといふ。

東部知多衛生組合の構成市町では、新処理施設の稼働に合わせて、可燃ゴミの20%削減が必須課題となっている。

**問** ゴミ減量化対策、(A)条例の制定や表彰制度導入への見解。

**答** (A)家庭系ゴミ減量化実施計画に基づいて取り組むので、条例の制定は考えていない。

表彰制度も考えていないが、ゴミの減量に繋がる表彰制度などがあれば、今後検討する。

**問** 小型家電に関して、(A)種類と量、(B)全てリサイクル可能か。

**答** (A)種類は28分類。量は、平成29年度1月までの10カ月間で、精密機器類が763kg。その他の物が5549kg。(B)分解した後、再資源化の可否に分類し、処理している。

(B)①地区説明会を実施し、資源ゴミの徹底した仕分けなどに向けたPR。  
②雑誌の回収。  
③可燃ゴミ用袋の20ℓサイズを新規に作製。  
④廃プラスチック用ゴミ袋の低価格化による可燃ゴミ減量の推進。  
⑤過剰包装削減の啓発。などを中心に取り組む。